

平成 23 年度

茨城県後期高齢者医療広域連合一般会計及び
同後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査意見書

茨城県後期高齢者医療広域連合 監査委員

茨高広監査第 15 号

平成 24 年 7 月 10 日

茨城県後期高齢者医療広域連合長 中 田 裕 様

茨城県後期高齢者医療広域連合 監 査 委 員 黒 川 浩
同 監 査 委 員 孝 井 恒 一



平成 23 年度茨城県後期高齢者医療広域連合一般会計及び
同後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 292 条において準用する同法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された、平成 23 年度茨城県後期高齢者医療広域連合一般会計・同後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書及び証書類、その他政令で定める書類について審査したので、その結果について次のとおり意見を提出する。

(注) 審査意見書中の数字等は、次により表示した。

- 1 比率は百分率で表示し、原則として少数点以下第2位を四捨五入としたが、端数調整の都合上これによらないものもある。
- 2 ー表示は、皆無若しくは不能、不定または省略を示す。
- 3 △表示はマイナスを表す。
- 4 その他、次の凡例による。

凡 例

名 称	内 容
構 成 比	$(\text{算出したい部分の金額} \div \text{それらの全体の合計金額}) \times 100$ 全体に占める割合を示す。
増 減 率	$\{ (\text{算出したい年度の金額} \div \text{その前年度の金額}) - 1 \} \times 100$ その部分の前年度と比較した増減の状況を示す。
収 入 率	$(\text{収入済額} \div \text{予算現額}) \times 100$ 予算現額に対する収入の割合を示す。
執 行 率	$(\text{支出済額} \div \text{予算現額}) \times 100$ 予算現額に対する予算執行の割合を示す。

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1

第4	審査の結果	2
第5	意 見	3
第6	審査の概要	
	Ⅰ 平成23年度歳入歳出決算の概要	4
	Ⅱ 一般会計	5
	Ⅲ 後期高齢者医療特別会計	8
	Ⅳ 財産に関する調書	11

平成 23 年度茨城県後期高齢者医療広域連合一般会計及び 同後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 23 年度茨城県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算書

一般会計歳入歳出決算

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

一般会計歳入歳出決算事項別明細書

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第 2 審査の期間

平成 24 年 6 月 18 日から平成 24 年 7 月 10 日まで

第 3 審査の方法

この審査にあたっては、広域連合長から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して調製されているか、決算の計数は正確であるか、予算は適正かつ効率的に執行されているか、収入及び支出に係る事務は関係法令に則って適正に処理されているか、財産は適正に管理されているか等に主眼をおき、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類との照合その他必要と認める審査を実施した。

第4 審査の結果

- 1 歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令の規定に準拠し、適正に調製されていることを確認した。
- 2 歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は、関係帳票類と照合した結果、いずれも誤りのないことを確認した。
- 3 現金残高及び預金残高は、例月出納検査の際の残高確認、証拠書類の検査等により誤りのないことを確認した。
- 4 歳入の調定、支出負担行為及び支出命令等予算執行は、適正と認められた。
- 5 財産に関する調書は、関係法令の規定に準拠して調製され、その内容は適正と認められた。
- 6 決算状況については、第6審査の概要で述べる。
- 7 制度開始から4年目を迎え、広域連合は引き続き、被保険者の健康づくりや被保険者に対して療養の給付をはじめとした各種の医療給付を実施するため、市町村、茨城県及び他の広域連合と緊密な連携を図りながら、制度の安定的運営に努められた。

平成23年度の主要な施策

- ① 医療費の適正化
レセプト2次点検や医療費通知、重複頻回受診者訪問指導等を実施した。
- ② 保険料の軽減対策
平成22年度に引き続き、低所得者対策として、均等割額の軽減措置等を実施した。
- ③ 保健事業の推進
被保険者の利便性を考え、健康診査事業を、住所地の市町村に委託実施した。
- ④ 市町村との連携
市町村が行う広報活動、相談体制整備及び長寿・健康増進事業等について、国の補助金を活用し、取り組みを支援した。

第5 意見

急速な高齢化の進展に伴い、一人当たりの医療給付費が増加していく中において、広域連合は、後期高齢者医療制度の安定的な財政運営と、被保険者の「安心」と生活の「安定」を支えるという重要な役割を担っている。今後、事業の執行にあたっては限りある財源を有効に活用するとともに、医療費の適正化に関するなお一層の取組み強化を図るほか、各種保健事業の更なる充実に努められたい。

また、歳入の確保、特に保険料収納率については、被保険者間の公平性を保つためにも、引き続き各市町村と連携を図りながら収納対策に取り組むとともに、財政の健全化に努められたい。

後期高齢者医療制度については、国において、新たな高齢者医療制度に移行する方針が示されているが、新制度の詳細や実施時期はいまだ不透明な状況である。このような状況下ではあるが、現行制度の運営を担う広域連合としては、国や県、市町村などの関係機関と緊密な連携を図り、安定した制度運営の維持に努められたい。

第6 審査の概要

I 平成23年度歳入歳出決算の概要

一般会計及び特別会計を合わせた歳入歳出決算の総額は、

歳入決算額 2,536億8,879万3,023円

歳出決算額 2,529億4,836万 237円

であり、歳入歳出決算差引額は、7億4,043万2,786円となった。

第1表 歳入歳出決算額

(単位：円)

会 計 \ 区 分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出決算 差 引 額
一般会計	925,503,777	909,971,936	15,531,841
後期高齢者医療特別会計	252,763,289,246	252,038,388,301	724,900,945
合 計	253,688,793,023	252,948,360,237	740,432,786

Ⅱ 一般会計

1 決算の概要

平成23年度歳入決算額は、9億2,550万円で、前年度と比較し1,045万円(1.1%)の増となった。

一方、歳出決算額は9億997万円で、前年度と比較し1,120万円(1.2%)の増となった。

この結果、歳入歳出差引額は1,553万円で、前年度と比較し75万円(4.6%)の減となり、実質収支は、翌年度に繰越すべき財源がないので、同額の75万円の減である。

第2表 歳入歳出決算額比較

(単位：円、%)

区 分	歳 入		歳 出		歳入歳出差引	
	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率
22年度	915,052,675	0.2	898,772,694	△ 0.9	16,279,981	176.1
23年度	925,503,777	1.1	909,971,936	1.2	15,531,841	△ 4.6

第3表 歳入歳出決算収支比較

(単位：円、%)

区 分	22年度			23年度		
	決算額	増減額	増減率	決算額	増減額	増減率
1 歳入総額 A	915,052,675	2,017,541	0.2	925,503,777	10,451,102	1.1
2 歳出総額 B	898,772,694	△ 8,367,047	△ 0.9	909,971,936	11,199,242	1.2
3 差引額 (形式収支額) C=A-B	16,279,981	10,384,588	176.1	15,531,841	△ 748,140	△ 4.6
4 繰越財源	(1) 継続費 通次繰越額	0	0	0	0	0
	(2) 繰越明 許費繰越額	0	0	0	0	0
	(3) 事故繰 越し繰越額	0	0	0	0	0
	計 D	0	0	0	0	0
5 実質収支額 E=C-D	16,279,981	10,384,588	176.1	15,531,841	△ 748,140	△ 4.6

2 歳入

平成 23 年度歳入決算額は、9 億 2,550 万円であり、内訳は、分担金及び負担金 9 億 28 万円（総額の 97.3%）、繰越金 1,628 万円（同 1.7%）、諸収入 893 万円（同 1.0%）などとなっている。

第 4 表 歳入決算状況

(単位：円、%)

款	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	収入率 C/A	構成比
1 分担金及び 負担金	900,278,000	900,277,984	900,277,984	0	0	100.0	97.3
2 財産収入	13,000	12,261	12,261	0	0	94.3	0.0
3 繰入金	1,000	0	0	0	0	0.0	0.0
4 繰越金	16,279,000	16,279,981	16,279,981	0	0	100.0	1.7
5 諸収入	8,908,000	8,933,551	8,933,551	0	0	100.3	1.0
歳入合計	925,479,000	925,503,777	925,503,777	0	0	100.0	100.0

第 5 表 款別歳入決算額比較

(単位：円、%)

款	22 年度				23 年度			
	決算額	構成 比	増減額	増減率	決算額	構成 比	増減額	増減率
1 分担金及び 負担金	899,393,000	98.3	69,171,003	8.3	900,277,984	97.3	884,984	0.1
2 財産収入	21,574	0.0	△ 19,793	△ 47.8	12,261	0.0	△ 9,313	△ 43.2
3 繰入金	0	0.0	△ 10,000,000	皆減	0	0.0	0	—
4 繰越金	5,895,393	0.6	△ 56,726,750	△ 90.6	16,279,981	1.7	10,384,588	176.1
5 諸収入	9,742,708	1.1	△ 406,919	△ 4.0	8,933,551	1.0	△ 809,157	△ 8.3
歳入合計	915,052,675	100.0	2,107,541	0.2	925,503,777	100.0	10,451,102	1.1

3 歳 出

平成 23 年度歳出決算額は 9 億 997 万円であり、内訳は、民生費 6 億 2,048 万円（総額の 68.2%）、総務費 2 億 8,876 万円（同 31.7%）、議会費 73 万円（同 0.1%）となっている。

第 6 表 歳出決算状況

（単位：円、%）

款	予算現額 A	支出済額 B	不用額 A-B	執行率 B/A	翌年度 繰越額	構成比
1 議会費	1,082,000	734,465	347,535	67.9	0	0.1
2 総務費	291,400,000	288,762,338	2,637,662	99.1	0	31.7
3 民生費	628,996,000	620,475,133	8,520,867	98.6	0	68.2
4 公債費	1,000	0	1,000	0.0	0	0.0
5 予備費	4,000,000	0	4,000,000	0.0	0	0.0
歳出合計	925,479,000	909,971,936	15,507,064	98.3	0	100.0

第 7 表 款別歳出決算額比較

（単位：円、%）

款	22 年度				23 年度			
	決算額	構成 比	増減額	増減率	決算額	構成 比	増減額	増減率
1 議会費	790,742	0.1	△ 279,531	△ 26.1	734,465	0.1	△ 56,277	△ 7.1
2 総務費	292,084,530	32.5	11,778,631	4.2	288,762,338	31.7	△ 3,322,192	△ 1.1
3 民生費	605,897,422	67.4	△ 19,866,147	△ 3.2	620,475,133	68.2	14,577,711	2.4
4 公債費	0	0.0	0	—	0	0.0	0	—
5 予備費	0	0.0	0	—	0	0.0	0	—
歳入合計	898,772,694	100.0	△ 8,367,047	△ 0.9	909,971,936	100.0	11,199,242	1.2

Ⅲ 後期高齢者医療特別会計

1 決算の概要

平成23年度歳入決算額は、2,527億6,329万円で、前年度と比較し72億7,363万円(3.0%)の増となった。

一方、歳出決算額は、2,520億3,839万円で、前年度と比較し、87億2,828万円(3.6%)の増となった。

この結果、歳入歳出差引額は、7億2,490万円となり、前年度と比較し14億5,465万円(66.7%)の減となり、実質収支は、翌年度に繰越すべき財源がないので、同額の14億5,465万円の減である。

第8表 歳入歳出決算額比較

(単位：円、%)

区 分	歳 入		歳 出		歳入歳出差引	
	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率
22年度	245,489,655,646	4.6	243,310,107,695	5.0	2,179,547,951	△ 28.3
23年度	252,763,289,246	3.0	252,038,388,301	3.6	724,900,945	△ 66.7

第9表 歳入歳出決算収支比較

(単位：円、%)

区 分	22年度			23年度		
	決算額	増減額	増減率	決算額	増減額	増減率
1 歳入総額 A	245,489,655,646	10,828,833,440	4.6	252,763,289,246	7,273,633,600	3.0
2 歳出総額 B	243,310,107,695	11,688,209,478	5.0	252,038,388,301	8,728,280,606	3.6
3 差引額 (形式収支額) C=A-B	2,179,547,951	△ 859,376,038	△ 28.3	724,900,945	△ 1,454,647,006	△ 66.7
4 繰越財源	(1) 継続費 通次繰越額	0	—	0	0	—
	(2) 繰越明 許費繰越額	0	—	0	0	—
	(3) 事故繰 越し繰越額	0	—	0	0	—
	計 D	0	—	0	0	—
5 実質収支額 E=C-D	2,179,547,951	△ 859,376,038	△ 28.3	724,900,945	△ 1,454,647,006	△ 66.7

2 歳入

平成23年度歳入決算額は、2,527億6,329万円であり、内訳は、支払基金交付金1,025億2,559万円（総額の40.5%）、国庫支出金837億9,704万円（同33.2%）、市町村負担金412億5167万円（同16.3%）、などとなっている。

第10表 歳入決算状況

(単位：円、%)

款	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 欠損額	収入率 C/A	構成比
1 市町村負担金	41,516,431,000	41,251,665,286	41,251,665,286	0	0	99.4	16.3
2 国庫支出金	83,951,981,000	83,797,039,069	83,797,039,069	0	0	99.8	33.2
3 県支出金	20,308,736,000	20,308,734,207	20,308,734,207	0	0	100.0	8.0
4 支払基金交付金	102,000,254,000	102,525,591,000	102,525,591,000	0	0	100.5	40.5
5 特別高額療養費 共同事業交付金	20,644,000	25,799,343	25,799,343	0	0	125.0	0.0
6 財産収入	1,571,000	1,512,909	1,512,909	0	0	96.3	0.0
7 繰入金	2,280,349,000	2,274,693,028	2,274,693,028	0	0	99.8	0.9
8 繰越金	2,179,548,000	2,179,547,951	2,179,547,951	0	0	100.0	0.9
9 県財政安定化 基金借入金	1,000	0	0	0	0	0.0	0.0
10 諸収入	315,013,000	398,706,453	398,706,453	0	0	126.6	0.2
歳入合計	252,574,528,000	252,763,289,246	252,763,289,246	0	0	100.1	100.0

第11表 款別歳入決算額比較

(単位：円、%)

款	22年度				23年度			
	決算額	構成 比	増減額	増減率	決算額	構成 比	増減額	増減率
1 市町村 負担金	39,134,904,807	15.9	1,828,493,825	4.9	41,251,665,286	16.3	2,116,760,479	5.4
2 国庫支出金	80,456,445,896	32.8	2,451,927,703	3.1	83,797,039,069	33.2	3,340,593,173	4.2
3 県支出金	19,950,510,892	8.1	1,984,997,390	11.0	20,308,734,207	8.0	358,223,315	1.8
4 支払基金交付金	99,529,157,000	40.6	4,829,758,000	5.1	102,525,591,000	40.5	2,996,434,000	3.0
5 特別高額療養費 共同事業交付金	24,887,796	0.0	3,588,397	16.8	25,799,343	0.0	911,547	3.7
6 財産収入	3,027,918	0.0	△ 3,757,448	△ 55.4	1,512,909	0.0	△ 1,515,009	△ 50.0
7 繰入金	3,113,563,179	1.3	900,042,460	40.7	2,274,693,028	0.9	△ 838,870,151	△ 26.9
8 繰越金	3,038,923,989	1.2	△ 1,192,768,261	△ 28.2	2,179,547,951	0.9	△ 859,376,038	△ 28.3
9 県財政安定化 基金借入金	0	0.0	0	—	0	0.0	0	—
10 諸収入	238,234,169	0.1	26,551,374	12.5	398,706,453	0.2	160,472,284	67.4
歳入合計	245,489,655,646	100.0	10,828,833,440	4.6	252,763,289,246	100.0	7,273,633,600	3.0

3 歳 出

平成23年度歳出決算額は、2,520億3,839万円であり、内訳は、保険給付費2,475億6,584万円（総額の98.2%）、基金積立金28億7,227万円（同1.1%）、総務費6億3,233万円（同0.3%）などとなっている。

第12表 歳出決算状況

(単位：円、%)

款	予算現額	支出済額	不用額	執行率	翌年度	構成比
	A	B	A-B	B/A	繰越額	
1 総務費	636,688,000	632,327,795	4,360,205	99.3	0	0.3
2 保険給付費	248,062,739,000	247,565,838,372	496,900,628	99.8	0	98.2
3 県財政安定化 基金拠出金	178,411,000	178,411,000	0	100.0	0	0.1
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	33,147,000	31,852,499	1,294,501	96.1	0	0.0
5 保健事業費	357,760,000	338,543,678	19,216,322	94.6	0	0.1
6 基金積立金	2,872,326,000	2,872,267,099	58,901	100.0	0	1.1
7 公債費	8,012,000	0	8,012,000	0.0	0	0.0
8 諸支出金	425,445,000	419,147,858	6,297,142	98.5	0	0.2
歳出合計	252,574,528,000	252,038,388,301	536,139,699	99.8	0	100.0

第13表 款別歳出決算額比較

(単位：円、%)

款	22年度				23年度			
	決算額	構成比	増減額	増減率	決算額	構成比	増減額	増減率
1 総務費	618,962,359	0.3	△ 20,082,145	△ 3.1	632,327,795	0.3	13,365,436	2.2
2 保険給付費	238,773,336,505	98.1	14,517,275,573	6.5	247,565,838,372	98.2	8,792,501,867	3.7
3 県財政安定化 基金拠出金	178,412,000	0.1	20,151,826	12.7	178,411,000	0.1	△ 1,000	0.0
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	24,709,578	0.0	9,114,356	58.4	31,852,499	0.0	7,142,921	28.9
5 保健事業費	261,578,660	0.1	9,962,285	4.0	338,543,678	0.1	76,965,018	29.4
6 基金積立金	1,661,262,232	0.7	△ 622,963,334	△ 27.3	2,872,267,099	1.1	1,211,004,867	72.9
7 公債費	0	0.0	△ 282,198	皆減	0	0.0	0	—
8 諸支出金	1,791,846,361	0.7	△ 2,224,966,885	△ 55.4	419,147,858	0.2	△ 1,372,698,503	△ 76.6
歳出合計	243,310,107,695	100.0	11,688,209,478	5.0	252,038,388,301	100.0	8,728,280,606	3.6

IV 財産に関する調書

(1) 債権

(単位：円)

区 分	前年度末現在額	決算年度増減額	決算年度末現在高
債 権	17,706,480	△11,758,320	5,948,160

歳入に係る債権以外の債権については、職員用公社敷金 69,000 円、市町村窓口の端末機器使用料 5,879,160 円となっている。

(2) 基金

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減額	決算年度末現在高
財政調整基金	30,873,090	12,261	30,885,351
後期高齢者医療給付費準備基金	2,406,017,339	1,204,664,158	3,610,681,497
後期高齢者医療制度臨時特例基金	2,306,919,121	13,385,046	2,320,304,167
合 計	4,743,809,550	1,218,061,465	5,961,871,015

基金については、関係諸帳簿と照合した結果、適正に管理運用されていると認められた。

